

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

特別会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	介護予防「あ・し・た」プロジェクト事業				シート番号	011-272	
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	地域包括ケア推進課	評価責任者(課長名)	阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 31 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法			
	4	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成30(2018)~32(2020)年度) 堺市超高齢社会に対応するための地域包括ケアシステムの推進に関する条例			
5	事業実施の経緯	要介護高齢者の増加に伴い、介護給付費が増大する中、本市の要介護認定率は全国平均、大阪府平均よりも高く、特に要支援の認定率において差が大きいことから、要支援予備軍へアプローチする効果的な取組が求められている。そのため、要介護状態に至る前の、加齢に伴う身体的機能や認知機能の低下である「フレイル」の防止に資する介護予防プログラムを提供することで、高齢者の自立生活を維持することを目的に、令和元年度から令和3年度までの3か年の取組として本事業を実施する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 (ボランティア団体)			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	主に要介護認定を受けていない元気高齢者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	要介護認定を受けていない元気高齢者を対象に、要介護状態に至る前の、加齢に伴う身体的機能や認知機能の低下である「フレイル」の防止に資する介護予防プログラムを提供することで、高齢者の自立生活を維持する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	元気高齢者を対象に、あるく(身体活動)・しゃべる(社会参加)・たべる(食生活)のフレイル予防要素に基づく介護予防プログラムを実施することで、介護予防につながる行動変容を促進し、自身で介護予防に取り組むきっかけを作る。特に、これまで健康づくりや介護予防に無関心であった層の参加を促す。 事業実施に当たっては、民間のノウハウやアイデアにより社会的課題の解決を図り、成果に応じて対価を支払う成果連動型契約の手法を活用することで、活動内容の固定化や活動場所の確保、担い手不足等の課題に対し、多様な事業を展開するとともに、事業の評価検証で得られるデータを今後の介護予防事業に反映させる。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 民間企業等 一般社団法人日本老年学的評価研究機構、阪急阪神ホールディングス株式会社・いきいきライフ阪急阪神事業グループ				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費 (a)	千円	0	0	0	0	2,000	2,022	29,693
	主な事業費内訳	効果検証委託料	千円				2,000	1,991	4,000
		事業実施委託料	千円						25,693
			千円						
	財源内訳	国・府支出金	千円				1,210	1,223	17,963
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円						
		市債	千円						
その他(被保険者保険料)		千円				540	546	8,017	
	一般財源	千円				0	250	253	3,713
12	人件費 (b)	千円		0		0	8,440	8,440	8,700
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	0	10,440	10,462	38,393

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	介護予防「あ・した」プロジェクト事業	シート番号	011-272
-------	--------------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績																												
14	<p>事業の開始に備えて事業者公募を行ったところ、8者の応募があった。プレゼンテーションを行い、1者を選定し、令和元年11月25日に契約した。さらに、成果を判断する評価機関1者と随意契約を行った。</p> <p>12月にキックオフイベントを開催し、320名の参加があった。また、1月と2月に介護予防プログラムの説明イベントを実施し、それぞれ33名、35名の参加があった。</p> <p>評価機関では、事業成果を図るためのアンケート項目の作成及び基礎データの分析を行った。</p>																											
15	<p style="text-align: center; background-color: #ffff00;">定性的な目標</p> <p>事業の開始に備えて事業者公募や業者選定、参加者募集を行う。</p>																											
16	<p style="text-align: center; background-color: #ffff00;">目標に対する実績</p> <p>8者の応募があり、事業実施主体者として1者を選定した。また、評価機関1者と契約した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">指標名【活動指標】</th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 15%;">平成30年度</th> <th style="width: 15%;">令和元年度</th> <th style="width: 15%;">令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">総参加者数</td> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2,000</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">算出方法・設定根拠など</p> <p>事業への総参加者数</p>	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	総参加者数	目標値			-	2,000	実績値			-	-	達成率			-	-	評価			-	-
指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																							
総参加者数	目標値			-	2,000																							
	実績値			-	-																							
	達成率			-	-																							
	評価			-	-																							

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	<p>事業の開始に備えて事業者公募や業者選定、参加者募集を行い、事業者を決定した。イベントを順次実施しているが、2回実施した介護予防プログラム説明イベントでは、参加者のうち、これまで健康づくりや介護予防プログラムに参加した経験のない方は、それぞれ80%、92%であった。また、従来の市の介護予防事業には参加が少ない男性は、参加者のうち、それぞれ86%、60%であり、介護予防に無関心な層の行動変容を促す可能性のある有効な事業であるとする。</p>

**【分析のチェックポイント】**

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	介護予防「あ・した」プロジェクト事業	シート番号	011-272
-------	--------------------	-------	---------

≪V. 点検≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 新型コロナウイルス感染症予防のために外出や社会経済活動を自粛することにより高齢者の心身機能の低下が懸念され、「フレイル」を予防することは今後更に重要となるため。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 新型コロナウイルス感染症予防のために外出や社会経済活動を自粛することにより高齢者の心身機能の低下が懸念され、「フレイル」を予防することは今後更に重要となるため。 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 新型コロナウイルス感染症予防のために外出や社会経済活動を自粛することにより高齢者の心身機能の低下が懸念され、「フレイル」を予防することは今後更に重要となるため、事業規模を縮小することができない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 3密を避けるために、参加定員を減らす他、会わなくてもコミュニケーションがとれ、社会参加ができるようICTの活用について検討する。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/> ) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	理由・説明 民間のノウハウやアイデアにより社会的課題の解決を図り、成果に応じて対価を支払う成果運動型委託契約にて本事業を行っており、公民連携は既に推進している。さらに、ICTを活用した非接触型プログラムを実施することで、会場確保などの業務が不要となり業務効率も上がる。他部局との連携については、すでに健康づくり部門である健康医療推進課や保健センターと情報共有を図っている他、民間活力の活用の観点から企画部とも連携している。介護予防分野における成果運動型契約の先駆事例であることから内閣府等の国の機関と連携しており、大阪府とも情報共有を図っている。他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡を行うことは、本事業の特性から適していない。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	所見 フレイルを予防するためには、あるく(身体活動)・しゃべる(社会参加)・たべる(食生活)の3つが大切である。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、従来からの課題である活動内容の固定化や活動場所の確保、担い手不足に加えて、非接触型の社会参加の確保がフレイル予防の新たな課題として浮上している。コロナ後の新たな介護予防プログラムの構築のため、民間のノウハウやアイデアにより、ICTの活用も含めて多様なプログラムを提供していく。